



いよいよ明日から冬休みに入ります。冬休み中、事故やケガ等に気をつけてお過ごしいただき、どうぞよい年をお迎えください。

1 月は、年の始めであるとともに 3 学期の始めでもあります。新しい期待とともに子どもたちが、寒さに負けず、いつも元気で明るく笑顔を絶やさず、友だちとも仲良く遊び健康な子であるよう大人と共に心身を鍛えていきたいものです。また、まわりの大人の和顔愛語（やさしい笑顔と心からのことば）が子どもたちの勇気づけになっていくよう、教職員一同心を新たにしてお努めしていきたいと思っております。

わけんあいご
和顔愛語の保育

和やかな顔、慈しみをもったことば、これは子どもに対しての理想というよりも、まず第一に、私達自身大人が常に心がけなければならないことです。

赤ちゃんが笑むと、ついこちらもところが和んで顔も自然と笑顔になる。こんな体験は誰にでもあると思います。この「相互作用」は、社会に揉まれ、我々大人同士のなかで忘れてしまったことではないでしょうか。

「今日、園でね……」と遊びながら話かけてくる子、なにかいたずらをしようと目を光らせている子。まず、こうした子どもたちを温かい微笑みで包み、優しい言葉を掛けることは、子どもを育てるのに とても大事なことです。「愛語」といってもなにも表面的に穏やかな言葉をいうだけではありません。ときには厳しく、しかし優しく子どもたちに接していきたいものです。なにかとギスギスした言葉の多い現代です。子どもたちをまるごと包み込むような「和顔愛語」の精神で、私達が接していくことによって、子どもたちにも、こうした心情を育てていくことができるのだと思います。

合 掌

◆冬の自然のなかで子どもたちは…◆

冬の自然のなかで、子どもたちは大発見をしたりそのものに触れて楽しんだりしています。その子どもたちのかかわりは大人の視点とは異なり、素朴な姿が見られますが、そこには子どもの生活や感覚が素直に表れているように思います。例えば、水たまりに張った氷は、大人にとっては冬にあるああたりまえの風景ですが、子どもたちにとっては、氷を見つけるだけで大発見であり、それを取ることでとても大切な宝物になるのです。又、それを使って箱にいれて箱を冷蔵庫がわりしてみたり、すかして見て氷の向こう側がどんなふうに見えるか、ワイワイ騒いだりしています。その他にも冬の自然の姿（動物の生活、虫の生活、木や花の姿 etc…）はたくさんありますのでお子さんと遊びながら一緒に探してみてください。

= おしらせ =

◆人形劇の公演について◆年長・中・少・みかん組

1 月 14 日(火)に、人形劇団ピコットによる人形劇を鑑賞します。今年は、「オオカミと七ひきの子ヤギ」です。体育館いっぱい楽しいメルヘンの世界が広がり、きっと子どもたちの心は夢で一杯になることでしょう。(観覧代金は園で負担します)

◆本堂お参り◆初詣・鏡割り

本堂お参りで鏡割りをし、そのおもちをあげもちにして食べます。
来年も、一年健康に過ごせますように…

◆令和 7 年度新入園児一日入園◆

1 月 22 日(水)は、令和 7 年度 1 号・2 号認定新入園児の一日入園を行います。(在園児は通常保育です。)

◆令和 6 年度 第 4 2 回作品展◆

2 月 8 日(土)作品展の開催を予定しています。作品づくりを行うにあたり、各クラスより廃材など素材の提供について手紙を配布しますので、ご協力の程お願いいたします。



※おとしものは、12 月 20 日(金)に整理させていただきますのでご確認ください。

